

錦が丘・街づくりデザインプラン（案）

2010年1月18日

錦が丘町内会

錦が丘・緑豊かな街並みを創る会

目次

現状の問題点

現状の問題点と歩車共存道路整備の必要性 100118

基本方針

錦が丘・歩車共存道路整備方針 091208

計画案

駅前通り計画案 091208

-1 駅前通り階段下付近の街路樹植替え案 現状 091110

-2 駅前通り階段下付近の街路樹植替え案 A 案（現状歩道+篠原側側帯拡幅）091110

-3 駅前通り階段下付近の街路樹植替え案 B 案（現状歩道+両側側帯拡幅 樹木部車道幅員 3.5m）091110

-4 駅前通り階段下付近の街路樹植替え案 C 案（段なし 2 m 歩道 樹木部車道幅員 3.5m）091110

駅前通り旧小倉邸角の交差点改良案 091030

ロータリー通り大階段側計画案 091208

ロータリー通り踏切菊名駅側計画案 091208

-1 ロータリー周辺計画 A 案 091110

-2 ロータリー周辺計画 A 案断面計画図 091110

-3 ロータリー周辺計画 D 案 091208

-4 ロータリー周辺計画 模型写真（A～D 案）091208

歩道が狭い

すれ違えない



歩道が歩きづらい

段差とアップダウンが不快

高齢, 乳母車, カートの人に危険



道路は歩車共存状態

人は車道を歩いている



街路樹で歩車共存が担保

樹木の交通制御機能(車が片側通行)



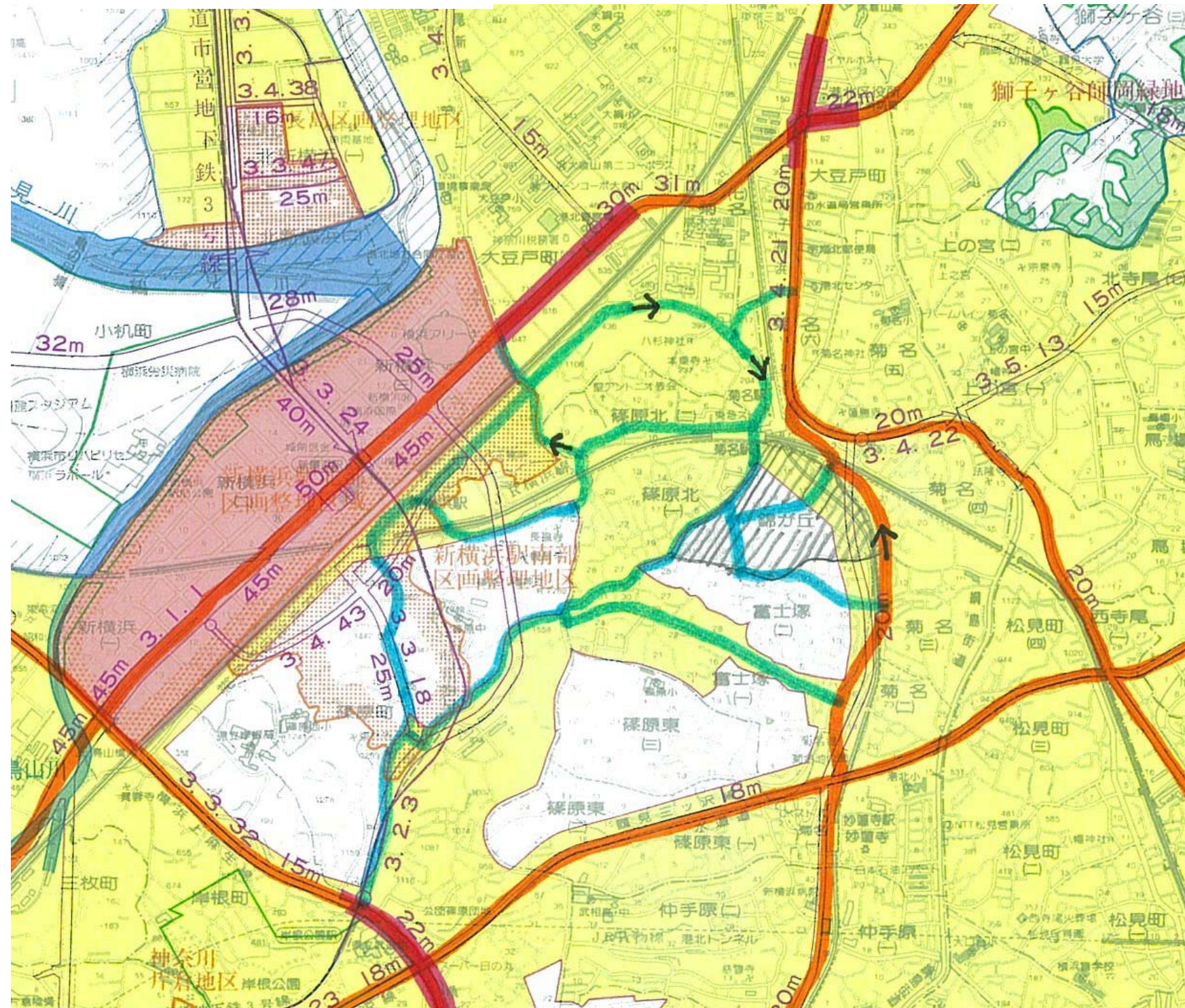
街路樹がない所が危険

車のスピード過多、通過交通(タクシー)の侵入

歩車共存道路の整備が必要

歩行者優先・車は遠慮して通る生活道路づくり

■道路ネットワーク図



■錦が丘の道路の周辺道路網における位置付け

左図中、**オレンジ色**は幹線道路、**ブルー色**は生活道路である。生活道路はコミュニティ道路や歩車共存道路などの生活者の安全と快適を優先させた道路として整備すべきである。

■錦が丘・歩車共存道路整備方針

錦が丘の街路樹継承宣言に則り、以下の具体的3方針のもとに、錦が丘を「**緑豊かな街並みのある歩車共存コミュニティ**」として整備する。

1. 歩行者の安全性と快適性を向上させる ～「歩行者優先で安心して楽しく歩けるまち」

錦が丘の道路は、全て生活道路である。歩行者を優先して、車はゆっくり通るべき道である。道路に樹木があるため車のスピードが落ち、歩行者の安全が保たれている。コミュニティ道路もしくは歩車共存道路の整備を行って、「**車が遠慮して通る道**」として、より歩行者の安全性と快適性の向上を図る。

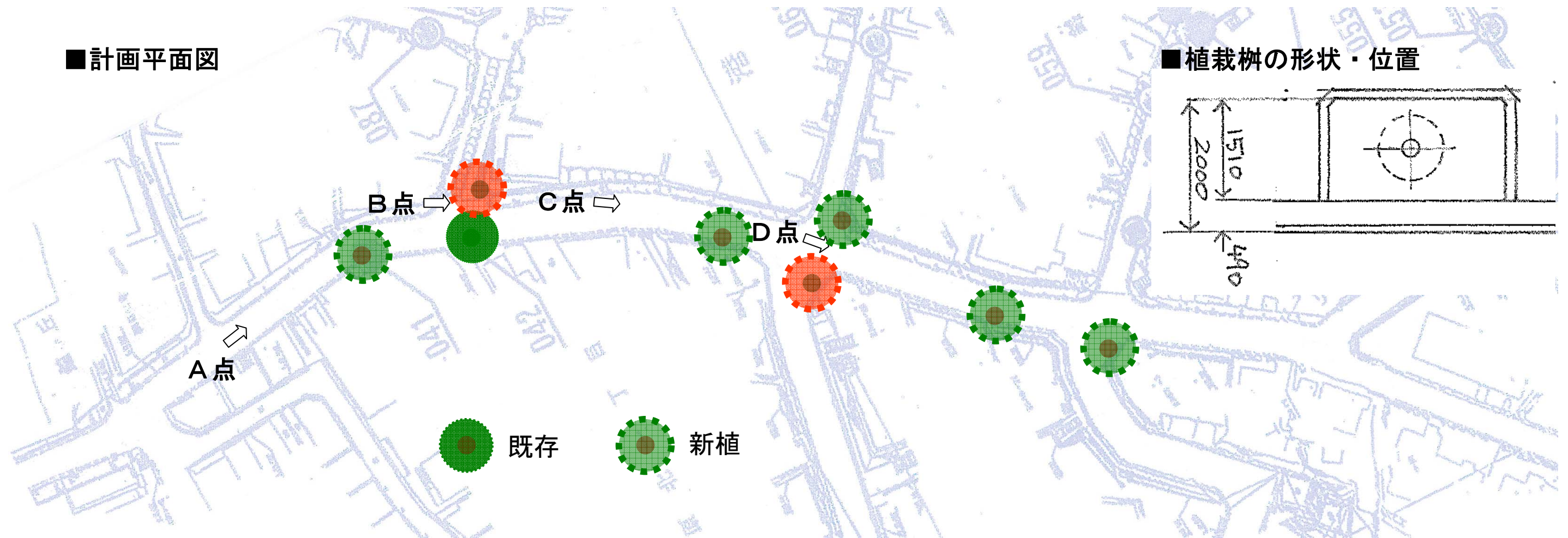
2. 緑の歴史的景観を継承する ～「歴史や文化を継承するまち」

歴史は一瞬にして壊れやすく、一度壊れた歴史は取り戻すのは困難である。錦が丘の街路樹群は町内会の先人達が行った「昭和の植樹」であった。これら一本一本を住民がケアし、「**それぞれの樹木に合わせた方法**」を講じながら継承し、ますます価値ある歴史的景観を後世に残す。

3. 街路樹を増やす ～「緑豊かな街並みのあるまち」

樹木は、夏涼しく冬温かく、うるおいのある快適な住環境を総合的につくる上で最も大切なものである。地球温暖化の防止と生物多様性の向上に適合する街という大きな理念のもとに、「**アスファルトから土へ、緑地へ**」のスローガンを掲げて、街路樹を増やす「**平成の植樹**」を推進する。

■計画平面図



●計画の考え方

- ・街路樹の景観の連続性（シーケンス）の確保



■ A点からの景観



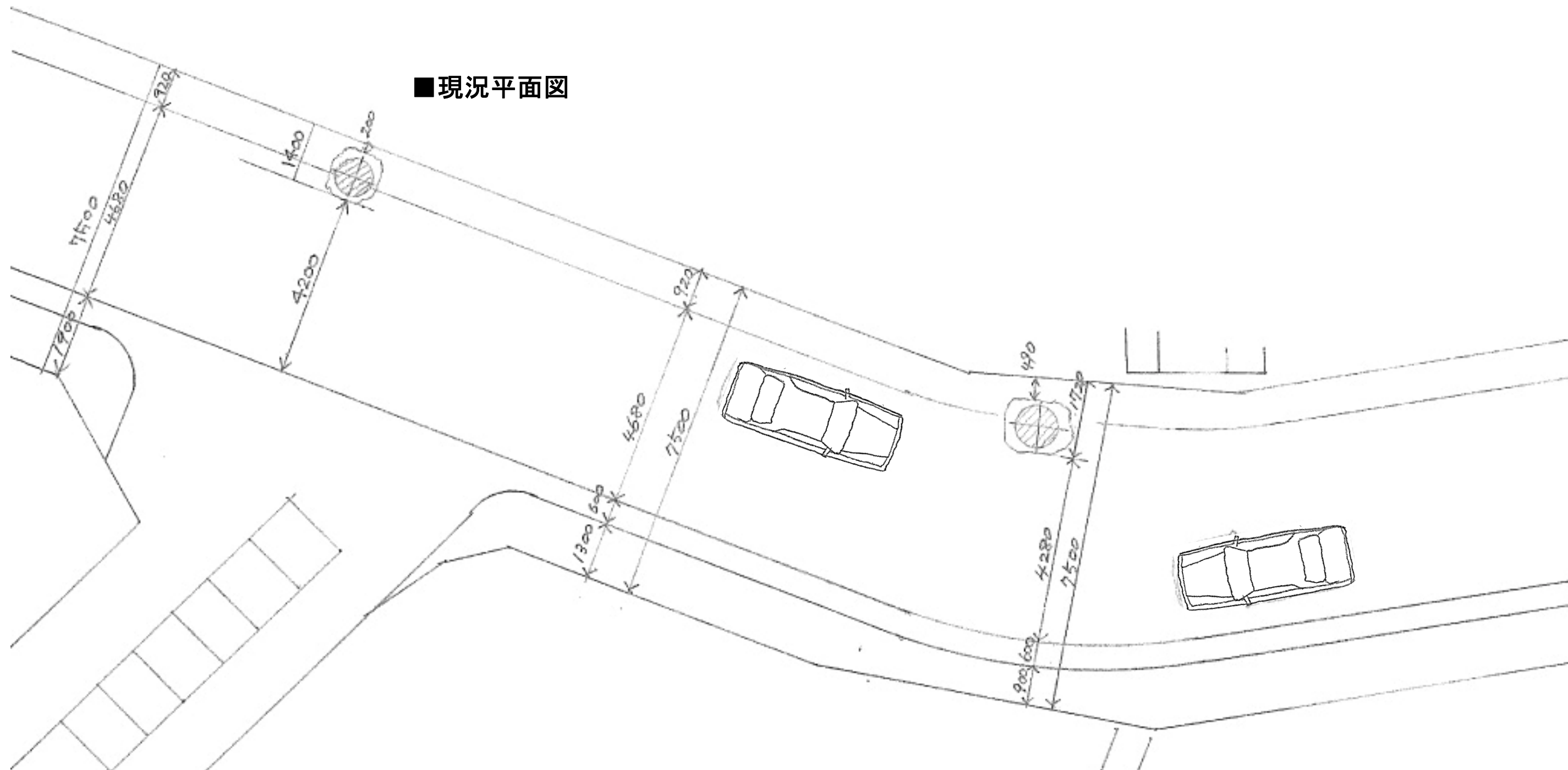
■ B点からの景観



■ C点からの景観



■ D点からの景観



● 現状の問題点

- ・歩道が0.9～1.3m程度と狭く、人がすれ違えない。
- ・歩道の段差やアップダウンが歩行に不快。高齢者、乳母車、トランクを持つ人に歩行困難、危険。
- ・篠原側に街路樹と宅地との間を通れない箇所あり。

● 街路樹の必要性

- ・街路樹で車が減速し、人が安全
- ・街路樹や路上駐車で片側通行となるため、人・自転車・車の歩車共存が保持。
- ・街路樹で路上駐車も安全。
- ・人は車道を使い、「歩車共存道路」。
- ・駅から最初の桜は錦が丘のシンボル。



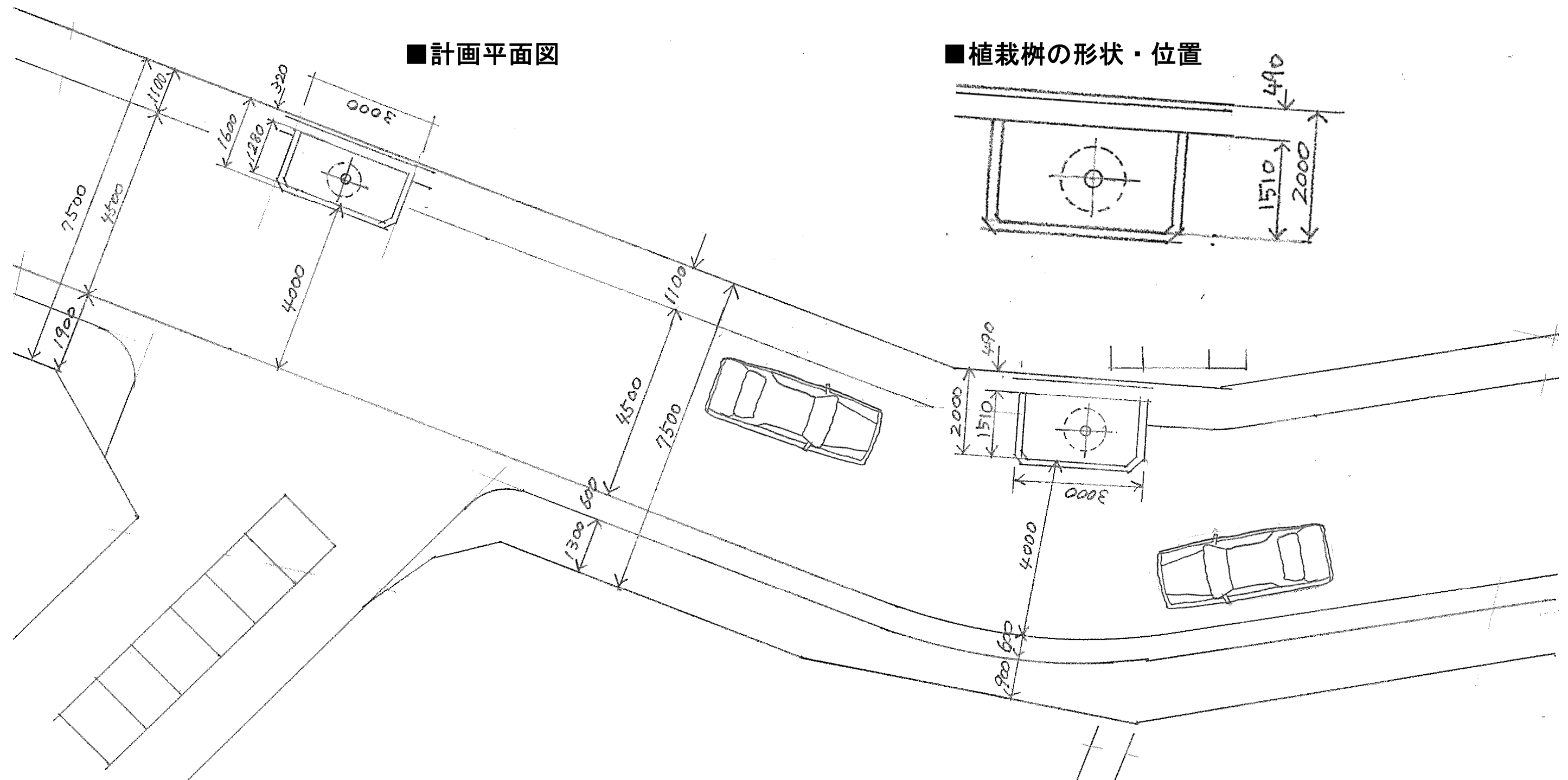
路上駐車で、片側通行



人と車の歩車共存道路



駅から最初の桜は錦が丘のシンボル



●計画の考え方

- ・現状歩道のまま街路樹を植替え。
- ・駅側の街路樹の位置を、少し駅側に寄せることで、その街路樹部分の車道幅4m以上を確保。
- ・篠原側の側帯を現状より18cm 拡げ、樹木のない車道幅4.5m。

●残る問題点

- ・歩道の狭さが未解決。
- ・篠原側の歩行スペースの不連続性が未解決。
- ・駅から遠い方の街路樹の植樹枅内法寸法が、1.28m。



駐車のため片側通行となり歩車共存。 樹木を利用した駐車、車道を利用する人



街路樹と宅地との間を通れない

[illegible]

■ 植栽枠の形状・位置

490
1510
2000

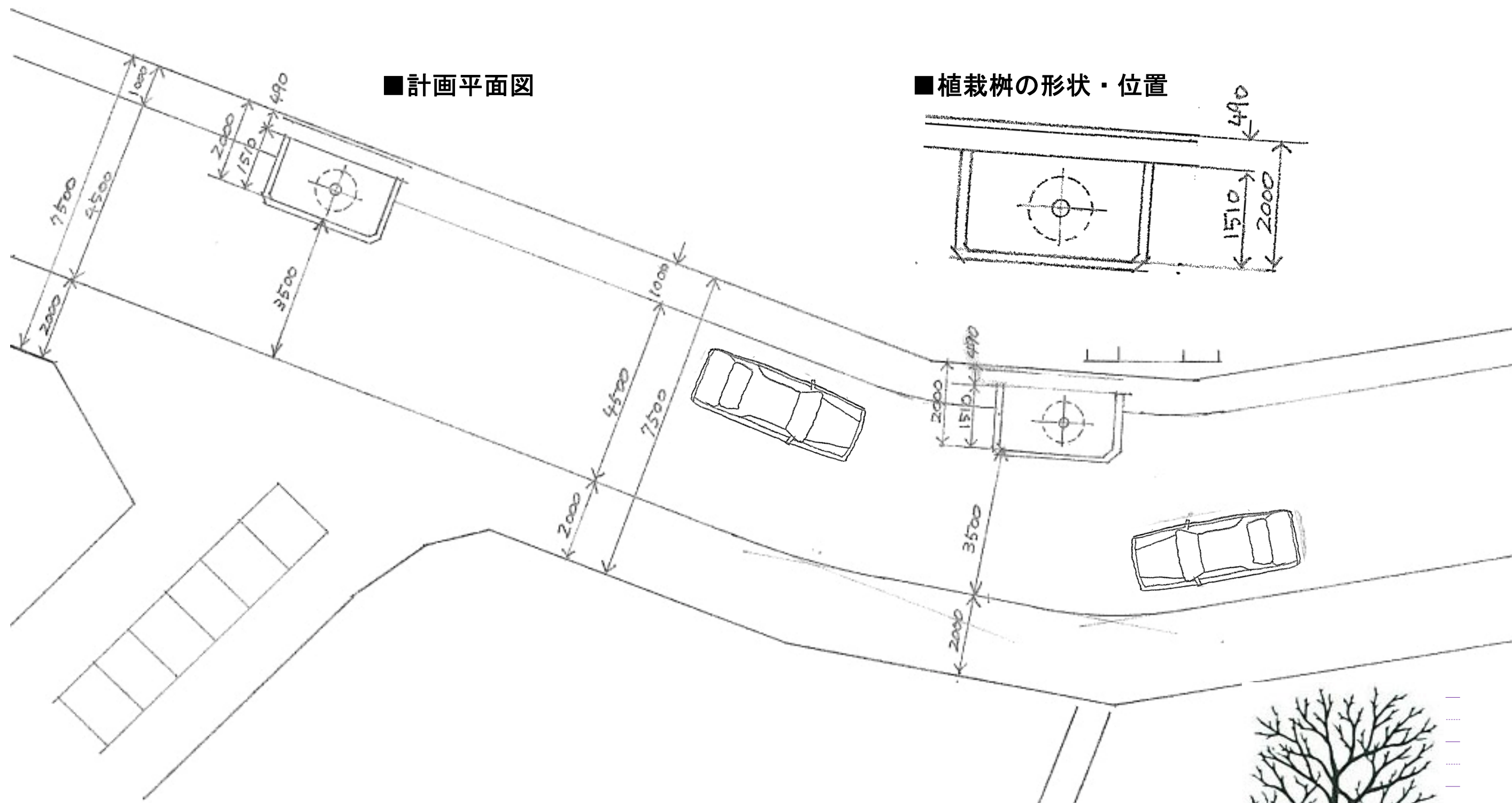
- ・街路樹部分の車道幅 3.5m とし、この部分の片側通行を明確にする。
- ・側帯を拡幅して歩道と合わせた歩行スペース幅 2m 確保。
- ・篠原側の街路樹と宅地の間の歩行スペースを連続的に確保。

- ・ **歩道の段差**が解消されていない。

Diagram illustrating a road layout with a total length of 7500m. The layout is divided into three main sections:

- Section 1 (Left):** 2000m long, containing a pedestrian and a child.
- Section 2 (Middle):** 3500m long, containing a car.
- Section 3 (Right):** 2000m long, containing a cyclist and a pedestrian, and a large tree.

The total length is indicated as 7500m. A blue line is shown above the road, and a dashed line is shown below the road.



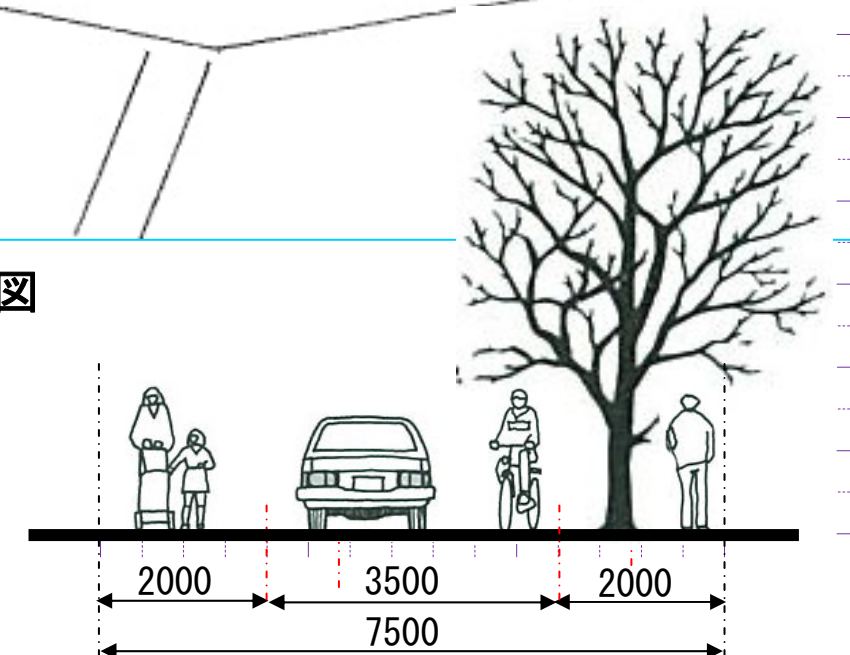
● 計画の考え方

- ・ 街路樹部分の車道幅 3.5m。
- ・ 植樹柵の内法 1.51m。
- ・ 歩道を車道と同レベルに下げ、**段差のない歩行スペース 2m** 確保。
- ・ 篠原側の街路樹と宅地の間の歩行スペース確保。

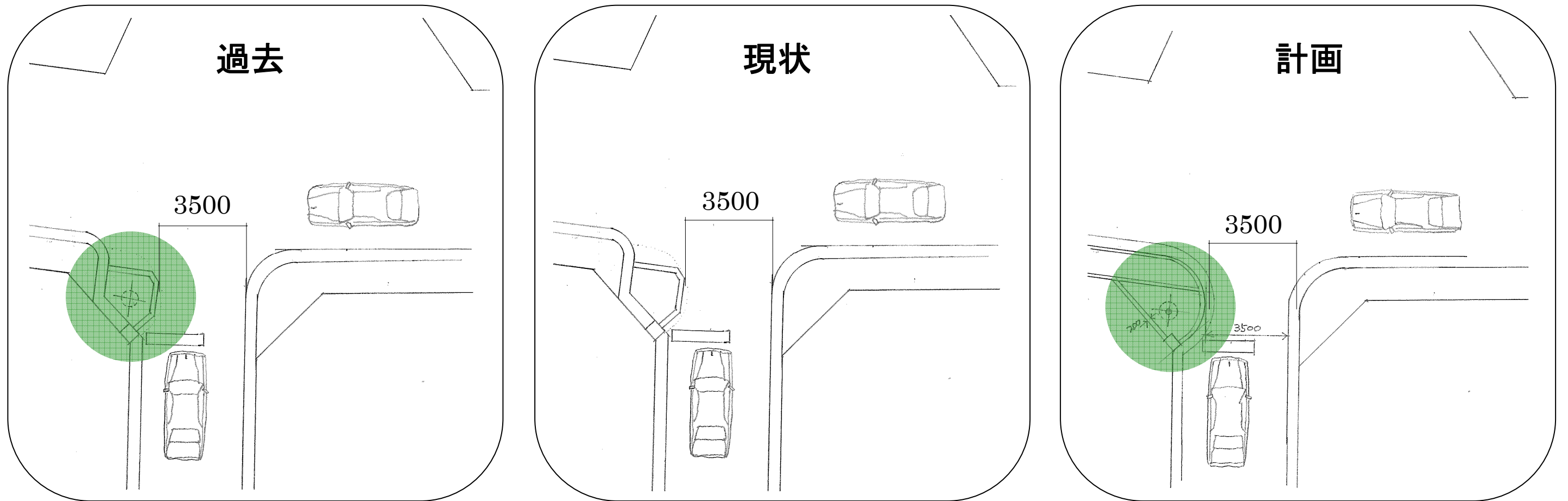
● 今後の検討点

- ・ **歩道段差の解消**をどのように実現するか。
 - ・ 支障のない所をまず行う。
 - ・ その他の所は、個別に検討。

■ 道路断面図



■計画平面図



●現状の問題点

- ・区画道路へのタクシーの進入が多く、生活環境が悪化している。この原因は、交差点のコーナーに街路樹がなくなって以降、通貨交通の進入を防止する抑止力が弱まったためと思われる。
- ・植栽柵の部分の歩道幅が狭い。

●計画の考え方

- ・区画道路への通貨交通の侵入を制限するため、交差点の狭窄（きょうさく）と植樹を行う。
- ・植栽柵を歩道と一体化し、歩道幅を連続させる。

●計画の類似例

出典：「コミュニティ・ゾーン形成マニュアル」（社）交通工学研究会



大阪・豊新地区

相互通行道路で歩道張出しによる交差点狭窄（きょうさく）の例。歩道の張出しにより横断距離の短い横断歩道が設置できている。



イギリス

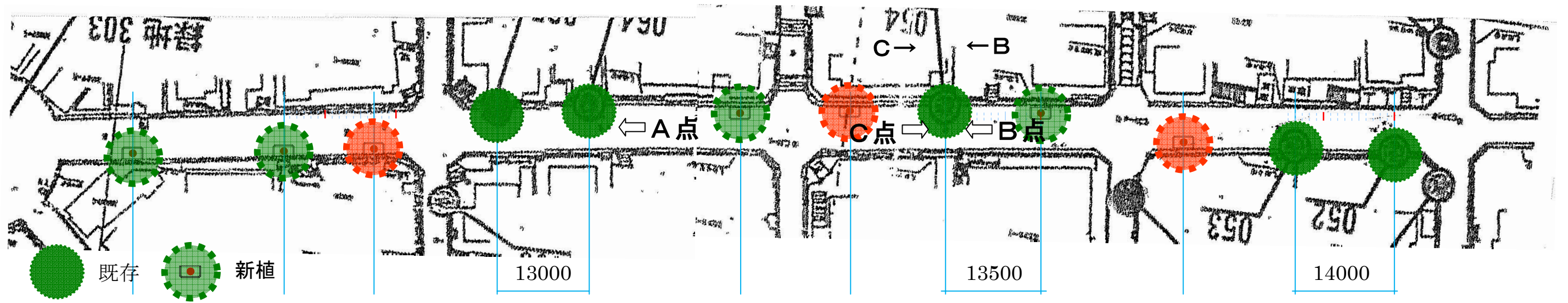
交差点部分において歩道張出し、樹木、ハンプにより、車道の幅員を狭くして（狭窄）、車の速度を抑制し、交差点における交通事故を未然に防いでいる例



イギリス・チェスタ

路面凸凹。歩行者と車が共存するような場所に採用する。車を最徐行させるための構造。

■計画平面図



■ A点からの景観



■ B点からの景観



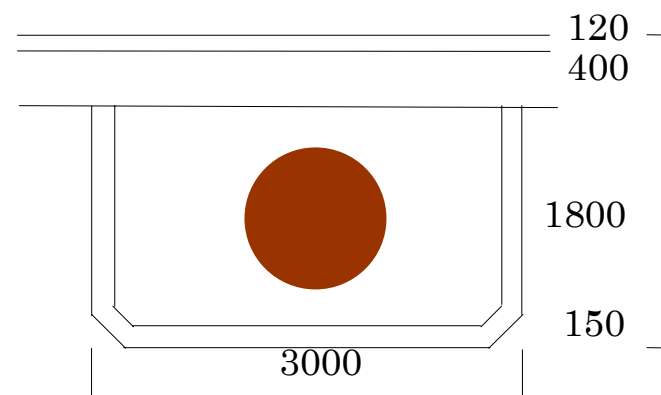
■ C点からの景観

●計画の考え方

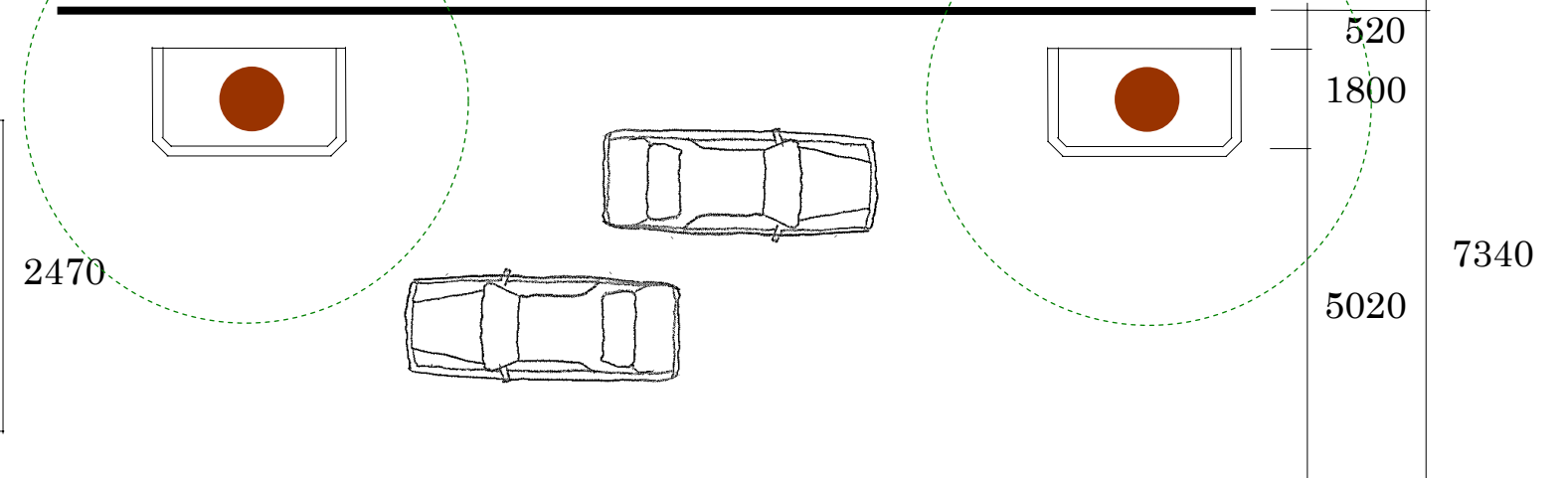
現状の植樹柵の位置と同じ。

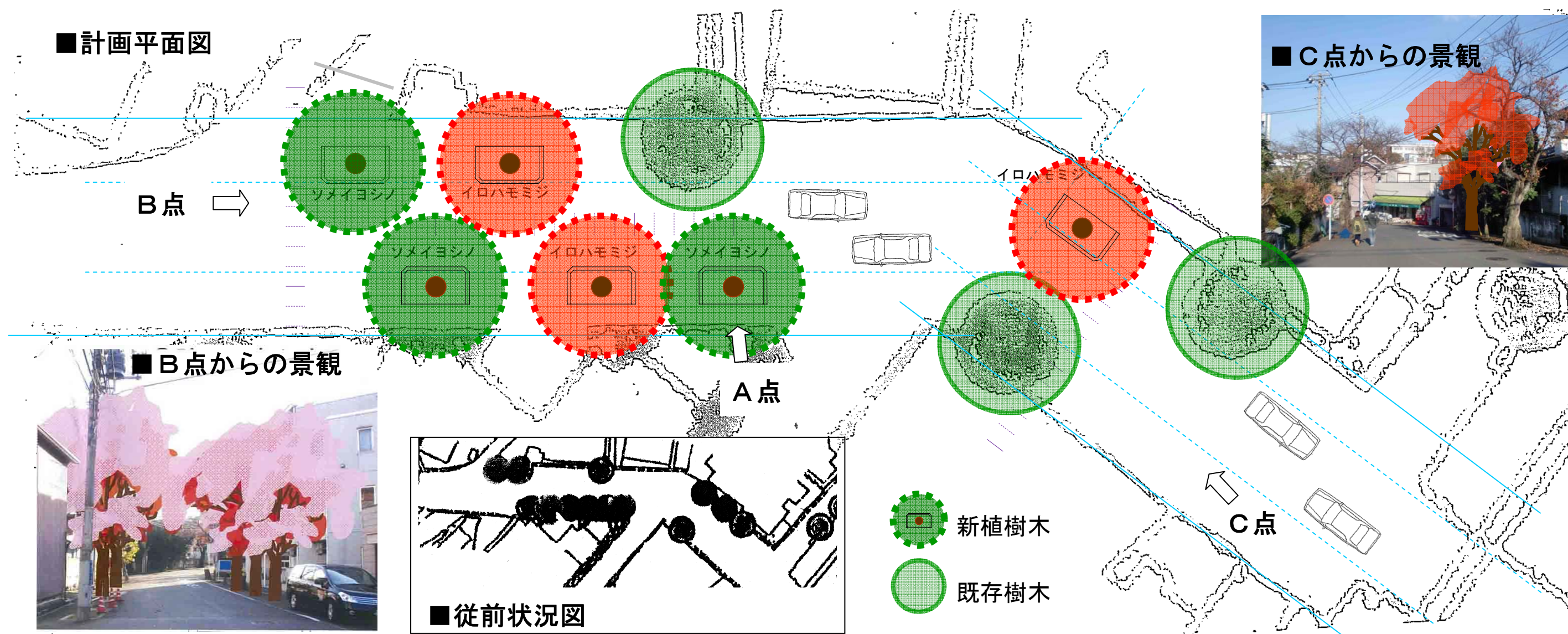
- ・縁石 120
- ・あき 400
- ・植樹柵 1810 × 3000

■植栽柵の形状



■植樹柵の位置

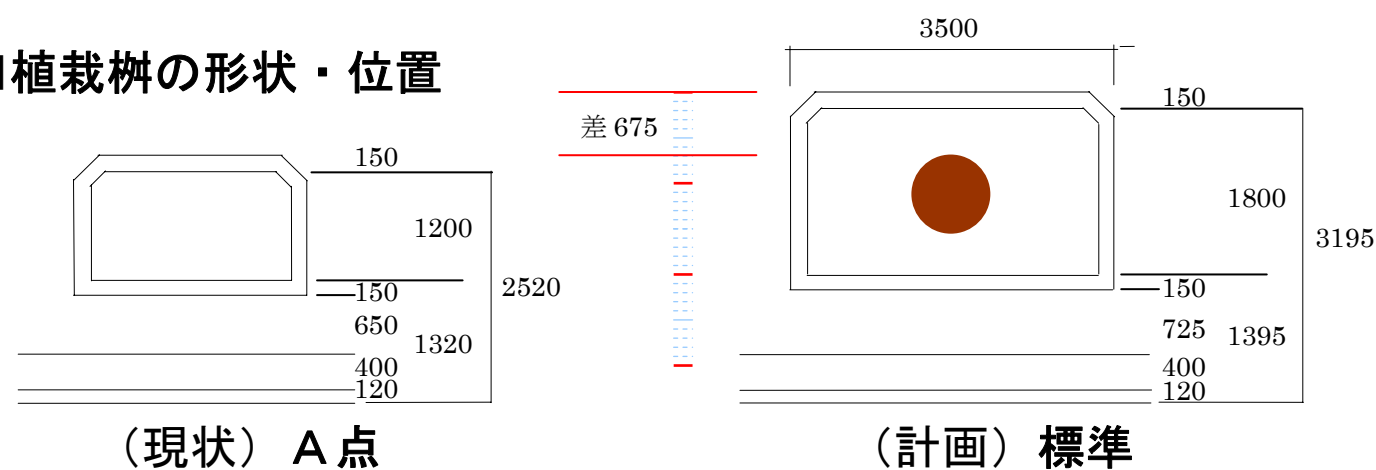




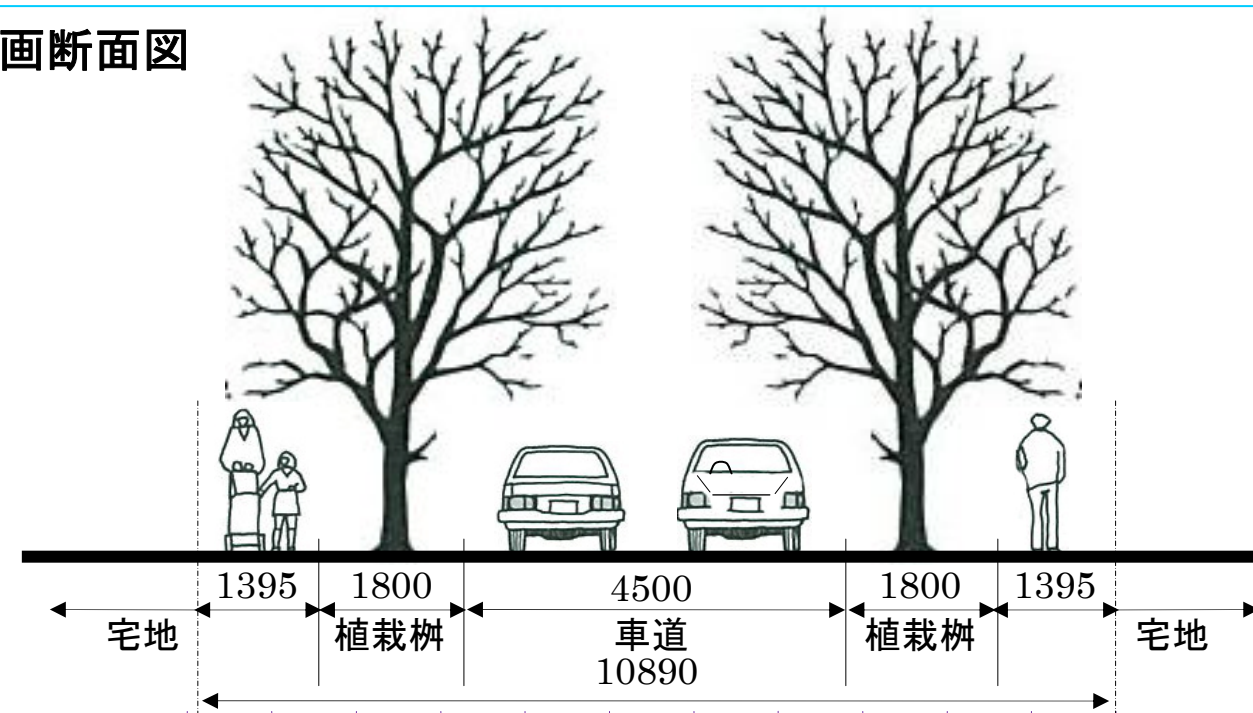
●計画の考え方

- ・植栽樹の巾を 1.2m から 1.8m へ 60cm 拡大する。
- ・宅地側の歩道幅を 75cm 拡大する。
- ・車道幅を現状の約 5.2m から 4.5m へ縮小する。

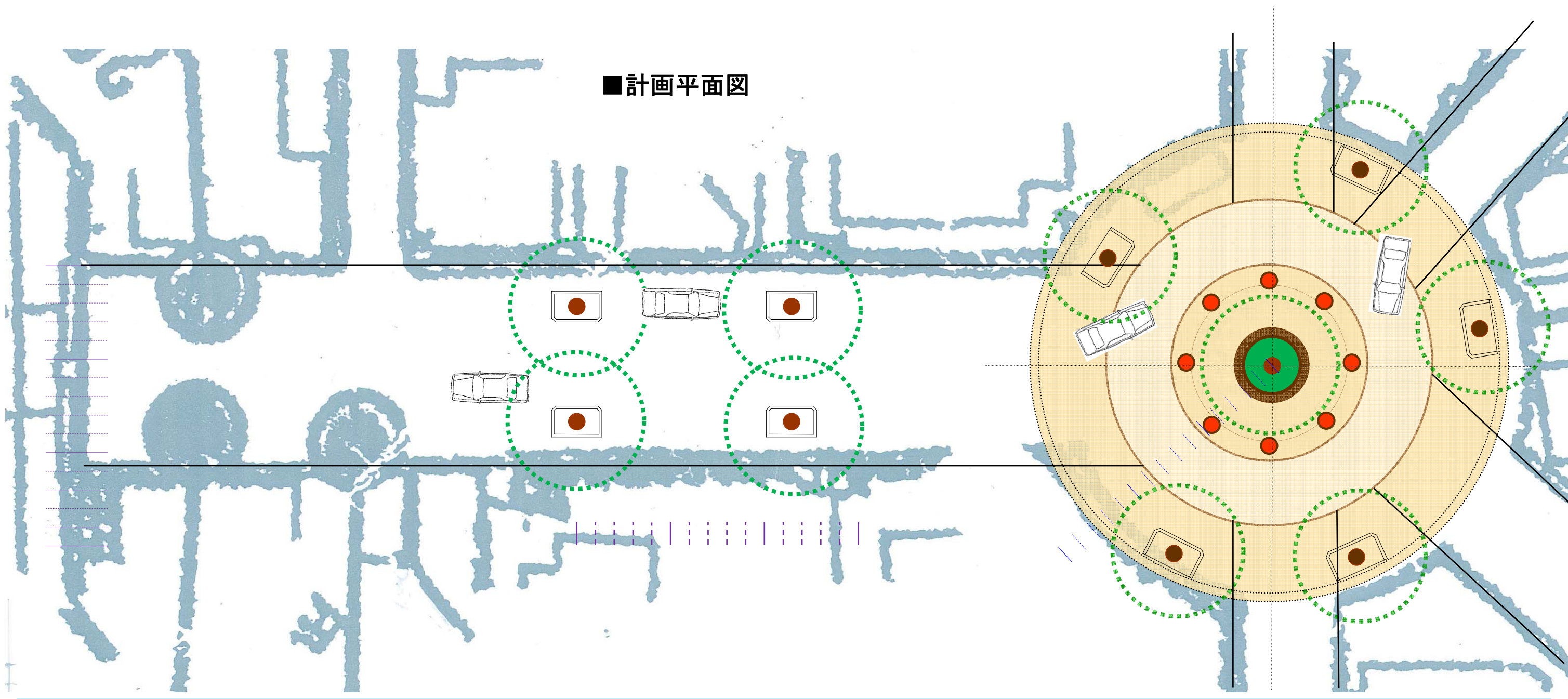
■植栽樹の形状・位置



■計画断面図



■計画平面図



●計画の考え方

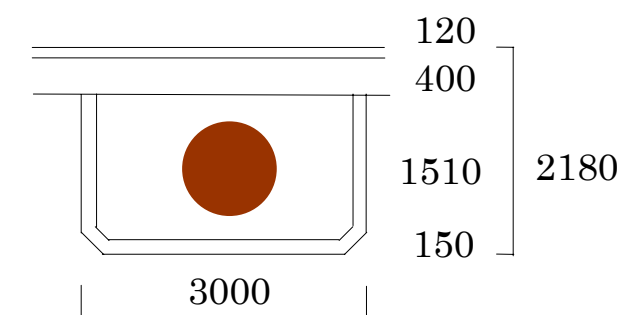
- ・センター部分に人が時間を過ごせる**広場**を設ける。
- ・**車道幅 3.5 m**。
- ・センター植込みの直径 3 m（現在約 8 m）。
- ・センター植込みの周りは**サークルベンチ**（木、石等）
- ・周りに**街路樹**（ソメイヨシノ）
- ・センターサークルの真ん中に**シンボル樹**
（例：シダレザクラ）

●計画の類似例

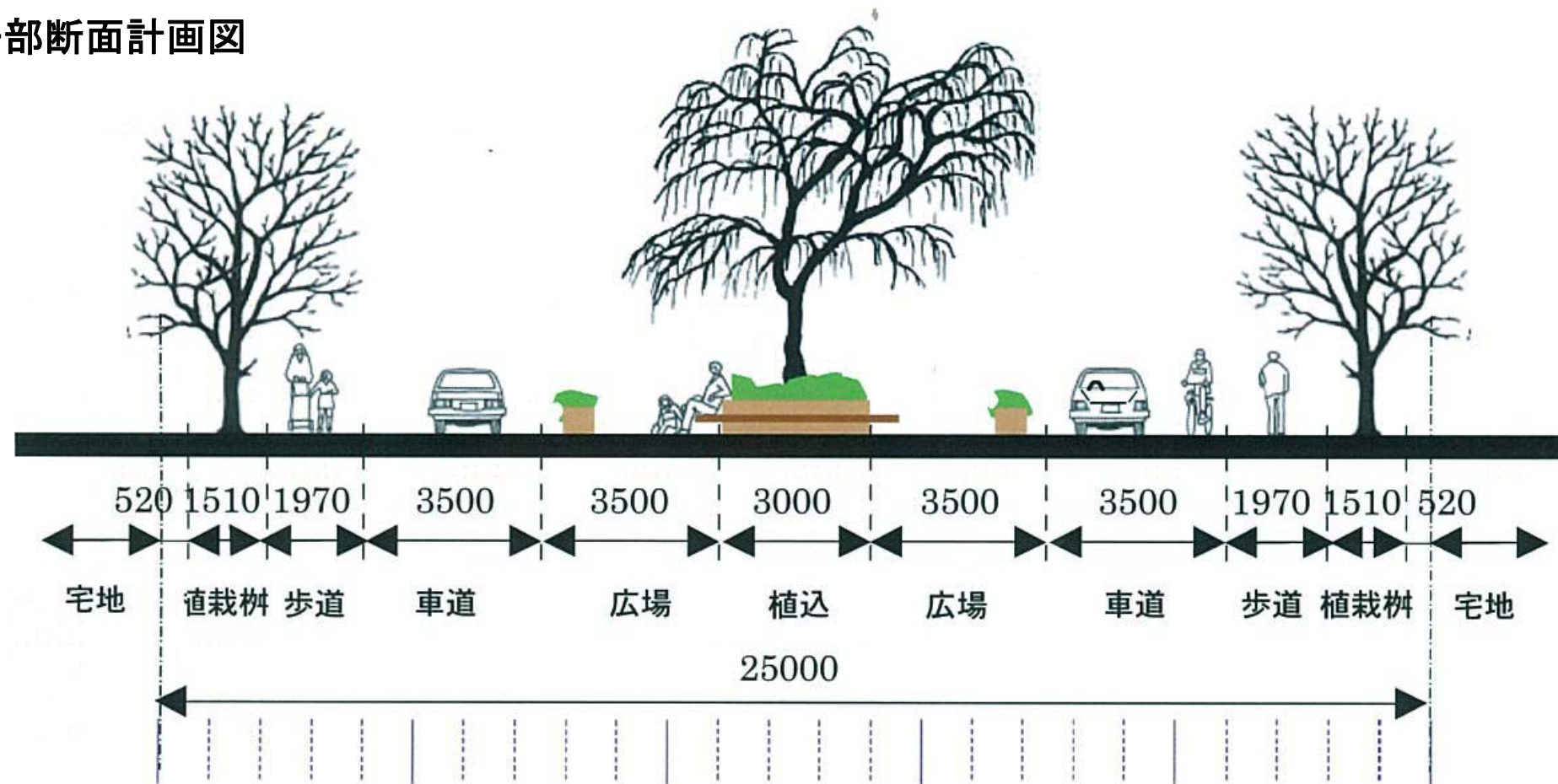


■植樹柵の形状・位置

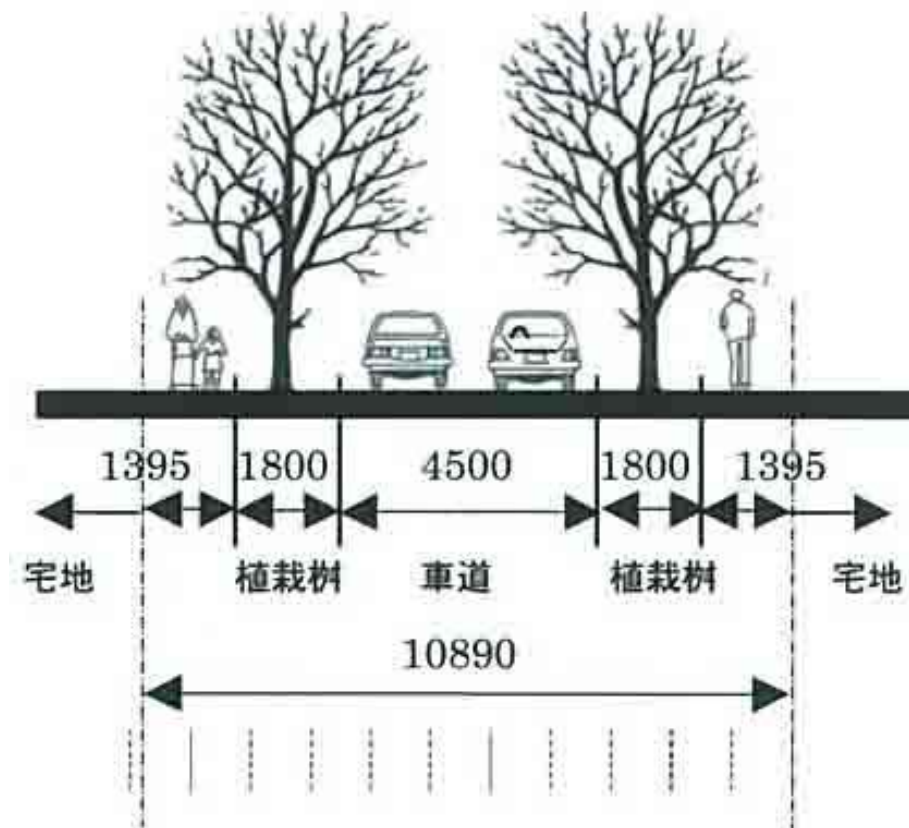
（ロータリー部）



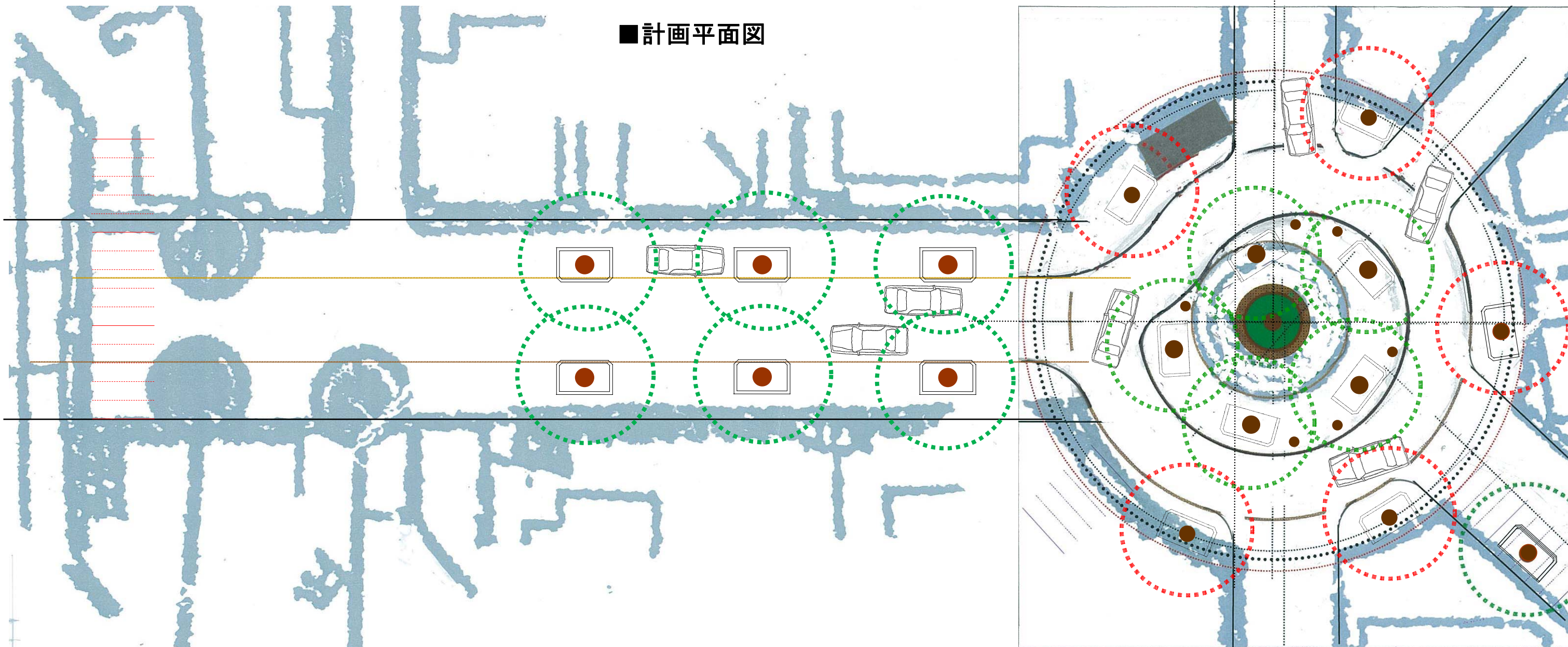
■ロータリ一部断面計画図



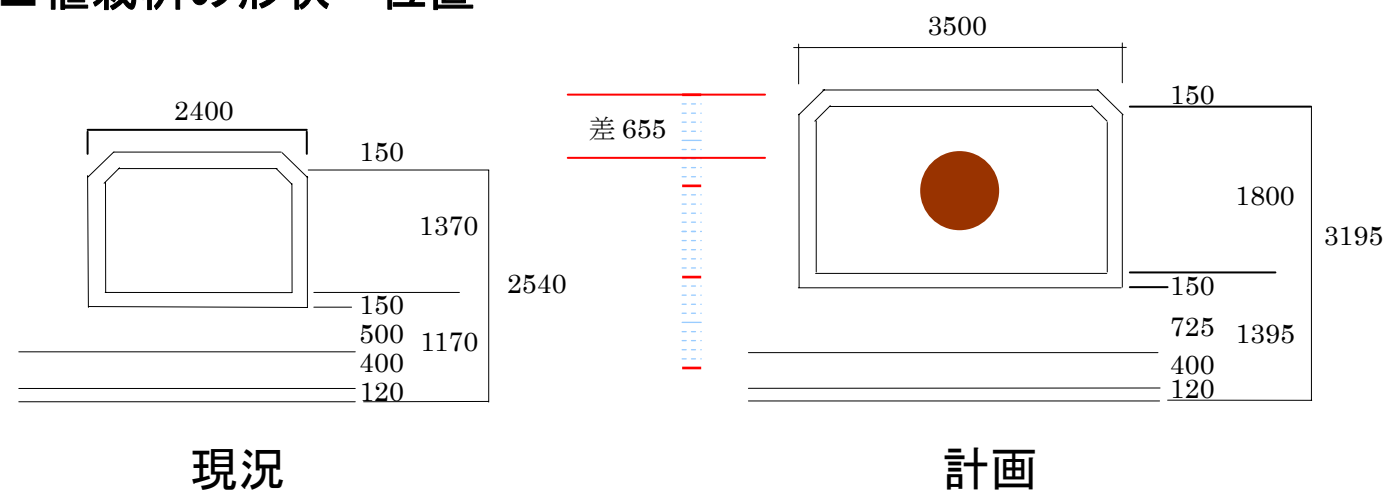
■ロータリ一通り部断面計画図



■計画平面図



■植栽柵の形状・位置



●計画の類似例



A 案

小サークル・シングル樹木
＋センター樹有



センター広場が狭い
樹木間隔が広すぎる
樹木が少ない

B 案

小サークル・ダブル樹木
＋センター樹有



センター広場が狭い
センター広場の樹木が窮屈
樹木は最も多い

C 案

大サークル・半ダブル樹木
＋センター樹無



センター広場が広い
樹木間隔は良い
樹木は多い

D 案

大サークル・ダブル樹木
＋センター樹無



センター広場が広い
樹木間隔は良い
樹木は最も多い